

## 忘れられた叡智を求めて

第22回

なぜ、我々は、日々の仕事において、人生において、様々な苦勞や困難に直面するのか。

その答えを教えてください、味わい深い言葉がある。

それは、プロ野球大リーグで活躍するイチロー選手が、あるインタビューで語った言葉である。

イチロー選手が年間262本という大リーグ記録を作った2004年の前年のシーズンのこと。

イチロー選手は、ある時期、アスレチックスのハドソンという投手の球を苦手として、何試合もヒットを打てず、抑え込まれていた。

その状況において、一人のスポーツ・インタビューアが、イチロー選手に、次のように訊いた。

## 困難に直面する社員に語りかけるべき言葉

イチローさん

あのハドソンという

ピッチャーは、

あなたにとって、

できれば対戦を避けたい

苦手のピッチャーですか。

しかし、その問いに対して、

イチロー選手は、こう答えた。

いえ、彼は、

自分の可能性を

引き出してくれる

素晴らしいピッチャー

だと思っています。

そしてさらに、彼は、こう

付け加えた。

だから、自分も、

彼の可能性を引き出せる

素晴らしいバッターに

なりたいですね。

この後半の言葉は、イチ

ロー選手らしい抑制した闘争

心を感じさせるが、何よりも、

前半の言葉の中に、我々は、

イチロー選手の静かな覚悟を

感じ取る。

それは、いかなる覚悟か。

困難とは、

素晴らしい機会である。

我々は、イチロー選手の言

葉の中に、その静かな覚悟を

感じ取る。

人生において

我々に与えられる

困難とは、

我々の可能性を

引き出してくれる

素晴らしい機会である。

そして、もし我々が、目の

前の仕事に対して、人生に対

して、この覚悟を定めるなら

ば、その瞬間に、我々の周り

の風景は、変わる。

いま、世の中に溢れる言葉。

いかに、楽をして

いかに、苦勞せず

こうした言葉が溢れる時代

だからこそ、経営者は、仕事に

おいて困難や壁に突き当たっ

ている社員に対して、深い愛

情をもって、一つの言葉を語

りかけるべきなのであろう。

おめでどう。

一人の職業人として

一人の人間として

大きく成長できる

素晴らしい機会が

やってきた。



田坂広志

[多摩大学大学院教授  
シンクタンク・ソフィア  
バンク代表]